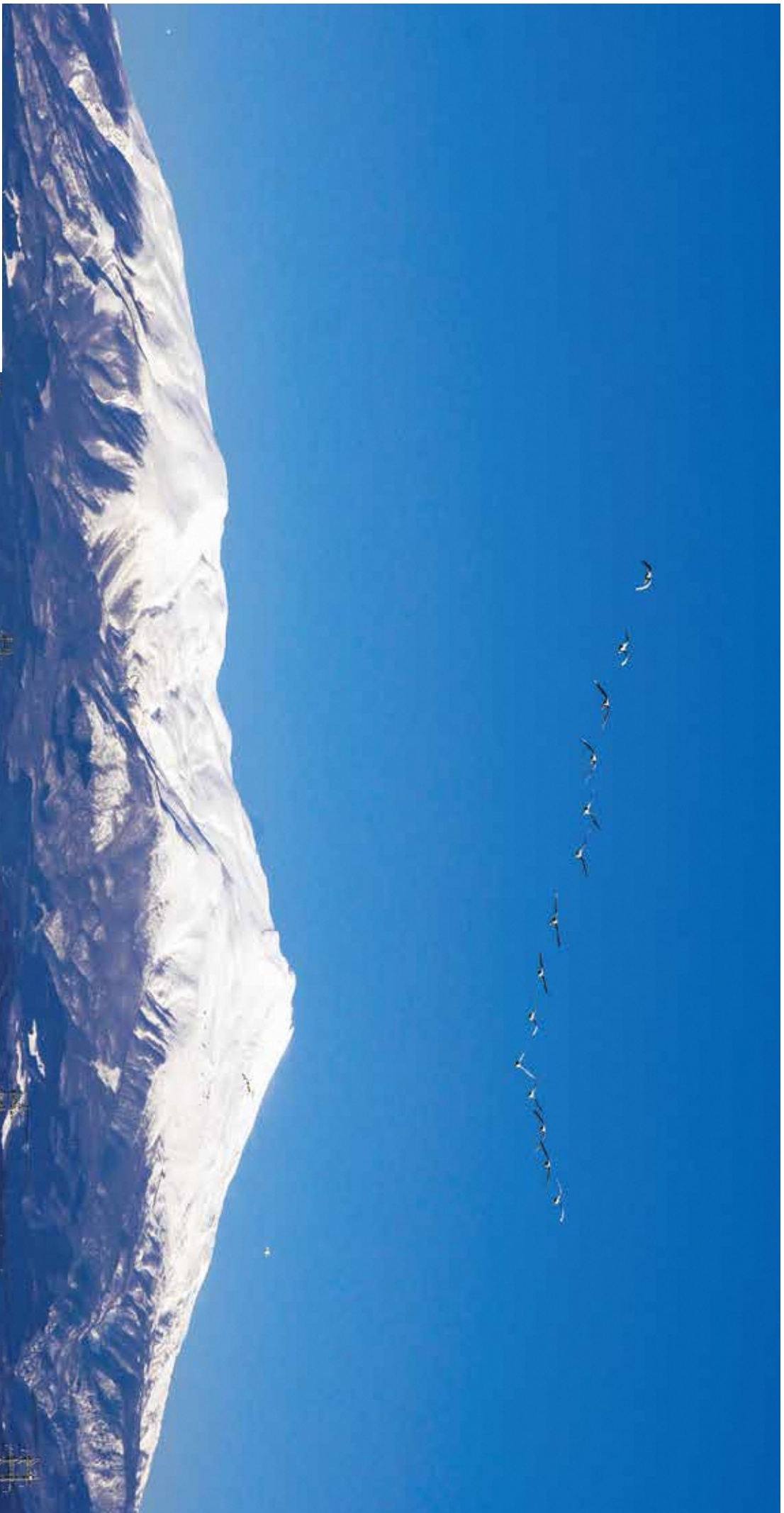




令和7年2月1日号
Sakata

市議会だより

第82号

12月定例議会

7月の大雨災害対応の補正予算を可決

山形県市議会議長会議会報研修会開催レポート

令和6年酒田市議会での主な活動状況

『鳥海山に向かって飛ぶ』高谷 勝巳氏 撮影



市ホームページ

開催レポート

■令和6年11月7日（木）
■フランス風郷土料理 ル・ポットフー

たびに 発見がある づくりを目指して



議会だよりは市民と議会の 重要な架け橋

令和6年11月7日、「フランス風郷土料理 ル・ポットフー」を会場に、株式会社社会議録 センターの矢嶋洋美氏を講師に迎え、議会報 研修会を開催しました。県内から100名を超える 参加者が集まり、皆さん講師のお話に熱心 に耳を傾けていました。

議会だよりは、市民の皆さまに議会の動き を幅広くお伝えすることを目的に発行してい ます。これまでも、より多くの方から手に取っ ていただき、興味を持っていただけるように 改善を重ねてまいりました。

今年度の研修会は、「議会だよりを『より 強力な広報ツールに！次号からすぐに生かせ る議会報編集のコツ』と題し、時代による議 会だよりの変化・進化や議会だよりの重要性 などについて講師の実体験を交えながら講演 いただきました。

後半では、県内各市の議会だよりすべてを 添削していただき、改善ポイントをわかりや すく丁寧にご説明いただきました。

「写真」と「見出し」を効果的に

議会だよりを具体的に改善するためのヒン トとして、「写真」と「見出し」の上手な活 用方法について説明がありました。「写真」 と「見出し」を効果的に使うことで、読者を 記事に引き込むことを意識することが重要で、 簡単なようでなかなか実践できていないとの

講師紹介

株式会社 会議録センター
編集部 部長
議会広報アドバイザー
や じ ま ひ ろ み
矢 嶋 洋 美 氏



〈主な実績〉

26年の議会だより編集の経験を生かし、町村議会広報コンクール入賞・受賞自治体を含めた編集サポート、アドバイス実績多数。
全国の市町村議会議員向けの議会広報研修の受講者実績は800名超。

議会の今を、 もっとあなたに 伝えたい

議会報編集委員会 委員長
大壁 洋平

今回、議会報編集の研修を受け、市民の皆さまに「こんなことを議会で話し合っているんだ!」と驚きや発見を感じていただける議会だよりをお届けしたいと強く思いました。

議会だよりは、議会活動を分かりやすく伝え、市民の声を議会に届ける重要な役割を担うものです。写真や見出し、デザインに一工夫を加え、手に取るたびに新しい発見がある紙面づくりを目指します。

また、広報・広聴機能を充実させることで、議会活動をさらに活性化し、市民生活の豊かさにつながるよう全力で取り組みます。

これからも、議会だよりを通じて市民の皆さまと議会を近づけるために努力してまいります。

手に取る 新しい 紙面



100名を超える参加者が講師のお話に引き込まれる

参加者の声



徹底して読者目線に重点を置いた研修会でした!

自分の市の改善点や他市の見習うべき点を可視化いただきわかりやすかった



「伸びしろ大」と指摘いただいたところを次号からしっかり改善していきたい!

ことです。
「見出し」を付けることも非常に効果的で、本文のガイド役となり、本文を読むか読まないかの判断材料にもなるため、いかに記事に引き込める見出しとするかがポイントになることでした。

12月定例議会

令和6年12月2日～12月13日（議会期間12日間）

12月正補

公共土木施設災害復旧事業費を10億9千700万円増額
農業用施設災害復旧事業費を2億6千700万円増額

審議された議案等

- 市長提出案件……………23件
- 議員提出議案……………1件

令和6年度酒田市一般会計補正予算（第9号）をはじめ、右記議案などを審議しました。議案は、各常任委員会、予算特別委員会の審査を経て本会議で採決が行われた結果、可決されました。

常任委員会

市税条例の一部改正などを審査

12月5日に各常任委員会、12月13日に総務常任委員会を開催し、議案14件を審議しました。

【総務】

議第127号刑法等の一部を改正する法律の

施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定についてのほか、議第128号から議第132号の議案6件を審査しました。

審査の結果、いずれも原案を妥当と認め、全会一致で可決すべきものと決定しました。

また、12月13日に追加提案された議第144号酒田市一般職の職員の給与に関する条例の一部改正についてを審査しました。

審査の結果、原案を妥当と認め、全会一致で可決すべきものと決定しました。

【民生】

議第133号酒田市介護保険条例の一部改正についてのほか、議第134号、議第135号の議案3件を審査しました。

審査の結果、いずれも原案を妥当と認め、全会一致で可決すべきものと決定しました。

【建設経済】

議第136号酒田市観光物産施設設置管理条例の廃止についてのほか、議第137号から議第139号の議案4件を審査しました。

審査の結果、いずれも原案を妥当と認め、全会一致で可決すべきものと決定しました。

予算特別委員会

各種災害関連補正予算などを審査

12月6日に議第122号令和6年度酒田市一般会計補正予算（第9号）のほか、議第123号から議第126号の議案5件を審査しました。

今回の補正は、農業用施設および公共土木施設の災害復旧に係る経費の増額、災害廃棄物の処理に係る経費の計上、被災した農機具の再取得等に係る補助金の計上が主なものでした。

審査の結果、いずれも原案を妥当と認め、全会一致で可決すべきものと決定しました。

また、12月13日に追加提案された議第140号令和6年度酒田市一般会計補正予算（第10号）のほか議第141号から議第143号の議案4件を審査しました。

今回の補正は、山形県人事委員会勧告に準

令和6年12月31日に佐藤喜紀議員から一身上の都合により議員を辞職したい旨の辞職願が提出され、議長はこれを許可しました。

なお、辞職に伴う補欠選挙は行いません。

※公職選挙法の規定により、議員の欠員の数が定数の6分の1を超えた場合や市長選挙が行われる場合に補欠選挙が実施されます。

議員の辞職

問 自治会集会施設復旧等支援事業について、補助率が5分の4、上限が500万円とのことだが、過去に被災した他地域の補助率、上限と比較した充実度合いを伺う。

答 本市の通常の自治会館修繕の補助率は2分の1である。また、能登半島地震後、他地域では補助率4分の3という事例も認識しているが、県の住宅応急改修に係る減災対策の補助率を参考にし、5分の4と決めた。

被災した自治会館修繕の補助率は

主な質疑

じた給与等の増額および人事異動等による給与等の調整、山居倉庫の仮ガイダンス機能の整備に係る経費の計上、これまで充用した予備費の復元が主なものでした。

審査の結果、いずれも原案を妥当と認め、全会一致で可決すべきものと決定しました。

令和6年定例会 第7回12月定例議会 議決結果

議案番号	件 名	議決結果
議第122号	令和6年度酒田市一般会計補正予算（第9号）	可 決
議第123号	令和6年度酒田市定期航路事業特別会計補正予算（第2号）	可 決
議第124号	令和6年度酒田市介護保険特別会計補正予算（第3号）	可 決
議第125号	令和6年度酒田市水道事業会計補正予算（第2号）	可 決
議第126号	令和6年度酒田市下水道事業会計補正予算（第2号）	可 決
議第127号	刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	可 決
議第128号	酒田市議会の議決に付すべき重要な公の施設に関する条例の廃止について	可 決
議第129号	酒田市職員の退職手当に関する条例の一部改正について	可 決
議第130号	酒田市税条例の一部改正について	可 決
議第131号	酒田市都市計画税条例の一部改正について	可 決
議第132号	酒田市開発許可等の基準に関する条例の一部改正について	可 決
議第133号	酒田市介護保険条例の一部改正について	可 決
議第134号	酒田市地域包括支援センターの包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例の一部改正について	可 決
議第135号	酒田市民健康保険税条例の一部改正について	可 決
議第136号	酒田市観光物産施設設置管理条例の廃止について	可 決
議第137号	酒田市民農園設置管理条例の廃止について	可 決
議第138号	酒田市下水道条例の一部改正について	可 決
議第139号	スマート農業研修センターの指定管理者の指定について	可 決
議第140号	令和6年度酒田市一般会計補正予算（第10号）	可 決
議第141号	令和6年度酒田市定期航路事業特別会計補正予算（第3号）	可 決
議第142号	令和6年度酒田市民健康保険特別会計補正予算（第4号）	可 決
議第143号	令和6年度酒田市介護保険特別会計補正予算（第4号）	可 決
議第144号	酒田市一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について	可 決
議会第4号	専決処分事項の指定についての一部を改正する議会議決について	可 決

一般質問

一般質問とは…
市政全般に関する状況や方針を質問し、報告や説明を求めたり、疑問を明らかにするもの。

12月11日から13日に

計14人が質問を行いました。

質問と答弁の要旨は次のとおりです。



地域おこし協力隊の積極的な活用を

後藤 卓 議員
ごとう たくし

問 本市にも今まで多くの方が地域おこし協力隊として着任され、その地域でさまざまな活動を通して刺激や影響を与えてきたと思われる。活動の状況や、目的の一つである他市出身者の任期終了後の本市定着の状況を伺う。

答 市長 今年度、本市で活動していた八幡、飛島地域の隊員は、いずれも配置された地域に溶け込みながら、地域課題に応じた活動を展開している。なお、これまでの市外出身隊員の本市定着率は53・8%となっている。

問 今後の隊員募集については、全国的にはさまざまな形態の活躍の場が提供されている。本市でも飛島、旧3町地域に限らず、産業や経済、歴史文化での地域おこしなど、受け入れ内容の拡大も視野に募集していくべきと思うが所見を伺う。

答 市長 令和7年度からは市内全域に拡大して運用していきたいと考えている。

答 総務部長 多様なメニューを用意しながら、応募された方がやりたいことを実現できるようにオーダーメイド型でしっかり対応していきたい。



令和7年県産米の「生産の目安」への本市の対応は

安藤 浩夫 議員
あんどう ひろお

問 令和7年県産米の目安が決定し、それを受けて本市の農業再生協議会が、令和7年1月に開催される。その中で、被災水稻農地を転作田と認め、JA庄内みどり管内での互助制度を利用し、主食用米作付けを行い、被災農家への収入補填に向けた体制づくりが必要と思われるが考えを伺う。

答 農林水産部長 被災水稻農地の取り扱いについては農業再生協議会で検討していきたい。互助制度を利用した収入補填の体制づくりは、現在、JA庄内みどりで検討していると伺っており、検討の状況を見守っていききたい。

問 ※1 公共災利用農地は、原形復旧が基本であるが、中山間地では水田が小さく作業効率が悪い。今後、担い手、受け手が減少する中での営農継続には、水田の集約、区画整備の大型化が必要であると思うが考えを伺う。

答 農林水産部長 災害復旧事業に既存の土地改良事業などを組み合わせることにより生産性向上に向けた取り組みも可能である。どの制度を活用するのが適当か、今後、生産組織と打合せなどを行いながら進めていきたい。

一般質問

7月の大雨災害で被災した林道林地の復旧は



▲動画はこちらから

一般質問

酒田港の貨物量拡大に向けた県産木材の輸出への取り組み



▲動画はこちらから

一般質問

子宮頸がん撲滅へ



▲動画はこちらから

帯状疱疹予防接種に
公費助成をえんた としこ
遠田敏子 議員

問 国は、帯状疱疹予防接種を定期接種に含める方針で審議を進めている。現在1千718自治体中、731自治体においてはすでに公費助成が実施されている現状である。本市においても予防接種に公費助成することで重症化を防ぐことができ、また、市独自で50代への負担軽減を検討することにより、労働損失を抑えるだけでなく医療費の軽減にもつながると思うが考えを伺う。

答 健康福祉部長 65歳以上の方については、国が令和7年4月からの定期接種化に向けて調整中とマスコミ報道があったことから、今後の調整状況を踏まえて検討していく。また、50代からの働き盛り世代への接種費用助成については、国の動向や県内他市町村の状況を見ながら検討していきたい。



働き盛り世代へも助成を

一般質問

庄内地域の観光面での
強みと弱み、
庄内空港利用促進

▲動画はこちらから

酒田本港地区への
クルーズ船入港の可能性はさいとう なおひろ
齋藤直 議員

問 現在、古湊埠頭に16万トン級クラスのクルーズ船が寄港してシャトルバスやタクシーなどで街中誘導、または、広域的な観光ルートで楽しんでいる。酒田本港地区への入港には将来的にも期待しているが、現状では港湾計画の利用形態の見直しの検討が必要であるため対象岸壁にはなっていない。本港地区へのクルーズ船入港の可能性について伺う。

答 地域創生部長 本港地区に安全に入港するためには、港湾計画の変更のほか、航路幅を確保するための浚渫や、岸壁などへの係船柱や※2防舷材の整備が必要となるため、引き続き県に要望していきたい。

問 クルーズ船寄港時には、できるだけ多くの乗客、乗員から下船していただき本市の魅力や伝統文化、そして購買に繋がっていただきたいが経済波及効果への取り組みについて伺う。

答 地域創生部長 乗客への消費行動アンケートや、商工会議所と連携した市内経済効果の測定などを行い、乗客を対象とした特別メニューを開発するなど、より本市への観光消費額の増加を目指した取り組みを検討していきたい。

一般質問

義務教育学校・複式学級



▲動画はこちらから

酒田のブランド「刈屋梨」を
救えいとう しんきち
伊藤欣哉 議員

問 荒瀬川の氾濫により、刈屋地区ではおよそ4分の1の園地で重大な損壊や土砂流木などの流入が発生した。梨の栽培で最も憂慮されるのが病害虫の発生である。産地全体に関わる課題であり、いち早く防除が実施できる状況に復旧させる必要がある。今後の復旧対策および実施見込みについて伺う。

答 市長 復旧については、病害虫発生防止の観点から、現地に多量に堆積した粘土質の土砂の除去および落果の処理を進める必要がある。※1公共災で木や棚、土砂の撤去を行う場合、一部の梨の木や棚を撤去する必要がある。地元の合意形成が重要である。被害

の軽い農地については、酒田市小規模農地等災害緊急復旧事業を活用して、令和6年度内の土砂撤去を検討いただきたいと考えている。



甚大な被害を受けた大雨後の梨畑の姿

※1 公共災……公共土木施設災害復旧事業

※2 防舷材……船舶と岸壁との間に設置するクッション材



若者と学生が輝くまちに

おおかへい
大壁 洋平 議員

問 若者の挑戦や成果を地域全体で称える仕組みは、次世代を担う若者たちの成長を後押しし、地域社会の活性化につながる重要な施策だと考える。若者たちの活動を支援する酒田コミュニティ財団について、目的と現在の状況を伺う。

答 副市長 若者が地域課題などを自ら設定し、解決方策を具体的なプロジェクトとして企画する。そして、その活動を応援する地域の大人たちとともにプロジェクトを進めていくことを目的とし、令和7年中の設立を目指しているところである。

問 酒田市若者大賞を設立してはどうか。

答 副市長 脚光を浴びる若者がしっかり認められるような環境を作っていくことが必要であると思われ、県による表彰も参考にしながら今後検討していきたい。



動き出したコミュニティ財団

一般質問

本市をブランディングするための施策は



▲動画はこちらから



空き家対策は進んでいるのか

たけだけいこ
武田 恵子 議員

問 令和3年3月に本市の「空き家等対策計画」が策定されて3年以上が経過したが、その進捗状況を伺う。また、現状と課題をどのように捉え、周辺住民の不安解消のためにどのような働きかけが進められているか、管理不全空き家をなくすための成果を伺う。

答 市民部長 これ以上管理不全空き家を増やさないことが重要であると捉えている。市民に適切な管理を呼びかけるとともに、空き家の解消、活用に向けたきめ細やかな支援を通じて、空き家の抑制に力を入れている。



利活用？解体？

問題のある空き家の相談があった場合には、まず市職員が現地を迅速に確認し、その上で管理責任がある所有者などに速やかに改善するよう指導を行う。自治会とも連携しながら市民の不安解消に努めている。

一般質問

最上川の水位の観測の在り方



▲動画はこちらから



本市の喫煙状況をどう捉えているか

さいとうひろし
斎藤 周 議員

問 厚生労働省の令和4年国民健康・栄養調査で、たばこを習慣的に吸っている20歳以上の男女の割合は14・8%だったことが分かった。これは、前回調査の16・7%を下回り、現行の設問になって以降、最低を更新した。では、本市ではどうか。本市が令和4年に行ったアンケートでは、「喫煙している」が8・3%と前回調査の16・3%に比べて半減はしているものの、令和15年度までの目標値には届いていない。前回の目標との比較も含めて現状認識について伺う。

答 健康福祉部長 令和4年度に国で実施した調査結果によると、習慣的に喫煙している者の割合は14・8%であり、同じく県で調査した結果は17・2%であった。本市の喫煙率は国、県よりも低く、減少傾向にあることから、本市における喫煙者は減少しているかと捉えている。



市役所の喫煙所は令和元年度に閉鎖

一般質問

表題以外の質問はありません



▲動画はこちらから



海岸砂防林の枯松倒木被害 への緊急対策を

たなか たくお
田中 斉 議員

問 11月19日の強風で大きな枯松の倒木事故が発生し、ビニールハウスを真つ二つにする被害があった。当日はハウス内に人が不在だったため人的被害は免れたが、強風が吹けば農家だけでなく市民の生命・財産が脅かされる。松くい虫被害はもはや災害級のレベルになっている。6月補正の市単独事業で道路沿いや危険箇所枯松伐採を続けているが、どの程度拡大可能か。

答 農林水産部長 国や県の補助事業として取り扱えないものがあるため、対象として取り上げられるよう要望していくことが必要である。既存の補助事業のメニューには細かい要件があるため、どの制度が本市に有利で活用可能かを見極めながら検討していきたい。

問 個人が枯松を伐採した処理費用への支援策や、地域毎に対策協議会を組織し、市民協働での対策を急ぐべきと思うが所見を伺う。

答 農林水産部長 個人が枯松を伐倒する場合、専門の業者に依頼することを条件に費用の一部を補助することを検討している。



7月25日大雨災害対応 く孤立しないこころのケアを

ごとう たかひろ
後藤 啓 議員

問 7月25日からの大雨災害後、住宅の再建を諦めて地域外へ避難した方や、大工の手配がつかず再建までの目途がたたないため避難されている方もいる。避難された方、地元に残る方もお互いに寂しさを抱えていると思われる。被災者に温かく寄り添った、孤立しないこころのケアはどうなっているのか。災害を乗り越えて、今後も住み続けたいと思えるまちづくりはどうあるべきか伺う。

答 市長 地域支えあいセンターが把握した現状と、これまで本市や社会福祉協議会が蓄積してきた情報を集約し、孤立防止に向けて、より適切な支援につなげていきたい。復旧復興にあたっては、被災された方々が被災前の当たり前の生活を取り戻すだけでなく、市民が今後とも住み続けたいと思えるまちを目指して、取り組みが必要があると考えている。



雪に耐える被災地



本市が考える飛島の将来像は

とみやま けんじ
富樫 寛 議員

問 現在、飛島は少子高齢化により人口減少が加速度的に進んでいる。飛島の基幹産業は漁業であるが、少子高齢化によって漁業就業者も激減し、深刻な問題となっている。しかし、観光の視点から見ると飛島は約300種の渡り鳥の中継地であり野鳥の宝庫として知られ、バードウォッチャーに大好評である。また、日本有数の釣りスポットでもあり、季節になれば一定の観光客が訪れる自然豊かな魅力ある島である。本市としては、飛島を観光振興なのか、または移住定住なのか、将来的にどのような地域にしたいと考えているのか、飛島の将来像について伺う。

答 市民部長 自然豊かで魅力あふれる本県で唯一の有人離島である飛島の価値を損なうことなく、県離島振興計画をもとに県と市が連携し、様々な人や団体に関わる協働の島づくりを推進していく。産業振興をはじめ、交流人口や関係人口を拡大させることによって移住定住を促進し、コミュニティの維持や福祉の向上と、飛島の持続的発展を図ってきたい。

一般質問

義務教育学校の進捗状況と安全な高台を望むPTAや地域の意見への対応



▲動画はこちらから

一般質問

復旧・復興支援に地域おこし協力隊の活用を



▲動画はこちらから

一般質問

新規ホテル事業者が目指す地域創生事業



▲動画はこちらから



北港開港50周年 これからの50年

ごとう しげあき
後藤 仁 議員

問 酒田北港が開港50周年を迎えた。これからの50年、酒田市沖洋上風力発電事業は、酒田北港の中核事業である。9月には、洋上風力基地港湾整備事業が着工した。経済効果をどのように考えているか伺う。

答 副市長 県が11月に発表した「山形県洋上風力発電による経済波及効果の調査業務委託報告書」によると、その経済波及効果は27年間の合計で約1千779億円とされ、近年にはない大きな経済効果をもたらすものであると認識している。

問 市民への情報発信を積極的にすべきであると思うが取り組みを伺う。

答 副市長 積極的にきめ細やかな情報発信を行うとともに、心配や懸念の声に対しては、正しい理解が進むように勉強会の開催なども検討していきたい。



洋上風力基地港湾整備エリア

一般質問

松山・平田地域の公共施設
適正化は、市民への正しい
情報提供を



▲動画はこちらから



貧困対策ではない 生理用ナプキンの常備を

しいわ しげる
市原 栄子 議員

問 生理用ナプキンをトイレに配置できないかと問うていたが、本市では女性の貧困対策の一環として窓口での対応とされていた。しかし、今では生理に対する悩みなどの発言がインターネット上にも多くなっている。特にトイレへの生理用品の配置が「ありがたかった」という声が多くみられる。また、働く現場で困ったことなどでも取り上げられており、女性職員の福利厚生にも役に立つと考える。貧困対策と併せ、生理用品のトイレへの常備について考えを伺う。

答 健康福祉部長 昨今、生理を取り巻く社会認識が徐々に変化していることを踏まえ、貧困対策としてではなく、急に生理になった場合など、生理に関する女性の負担や不安を軽減するため、誰でも必要なときに使えるように、生理用ナプキンのトイレ設置の検討を始めたところである。まずは、比較的短期間で実施ができそうなものとして、ボックスなどに入れてトイレの洗面台などに設置する方法がある。市役所にて試験的な実施を検討したい。

一般質問

だれでも気軽にお出かけ
できる公共施設を



▲動画はこちらから



ふるさと納税の寄附金で 農業支援を！

まつもと ましと
松本 国博 議員

問 令和5年度の決算では、ふるさと納税の寄附額は約43億円となり、そのうちの約11億円は返礼品代として地元事業者へ入り、手続き経費を差し引いた約22億8千万円が本市の実歳入となった。しかし、本市に有利なこの制度がこのまま好調に推移していかない場合も考えられる。実際に返礼品の7割を占める酒田産米が2か年の不作により、返礼品不足による申込の停止という機会損失がおきており、今後は酒田産米のファン離れも考えられる。よって、米の確保と「酒田産米ブランド」保持のために寄附額から農業分野への投資や支援の必要性を感じるが所見を伺う。

答 地域創生部長 農業者支援としては、既存の施策の拡充のほか、より効果のある新たな施策を検討するにあたり、寄附金の充当について今後検討していく。また、寄附金の使い道を具体的に示したうえで寄附を募るガバメント・クラウド・ファンディングという手法もあるため、国、県の補助事業なども含め、幅広く情報収集し、効果的な事業実施に努めたい。

一般質問

市民は地元観光をしているか
安心で訪れやすい羊煮会の
会場整備



▲動画はこちらから

令和6年 酒田市議会の主な活動状況

◎議会の開催状況と審議件数など

	会期日数	議決結果		議案件数			請 願	代表質疑	一般質問
		日 数	出席率	市長提出	議員提出	その他			
1月臨時会	1日	1日	100.0%	1件	0件	0件	-	-	-
3月定例会	24日	7日	100.0%	54件	3件	5件	-	7名	17名
4月招集議会	1日	1日	100.0%	6件	0件	0件	-	-	-
6月定例議会	15日	6日	98.7%	17件	0件	0件	1件	1名	18名
7月臨時議会	1日	1日	96.0%	3件	0件	0件	-	-	-
8月臨時議会	1日	1日	100.0%	9件	0件	0件	-	-	-
9月臨時議会	1日	1日	100.0%	6件	0件	0件	-	-	-
9月定例議会	24日	6日	96.0%	56件	0件	2件	-	6名	16名
12月定例議会	12日	5日	96.0%	23件	1件	0件	-	-	14名
合 計	80日	29日	98.0%	175件	4件	7件	1件	14名	65名

◎委員会の開催状況と審査件数

	委 員 会		協議会
	開催日数	審査件数	開催日数
総務常任委員会	11日	45件(0)	16日
民生常任委員会	8日	29件(1)	15日
建設経済常任委員会	7日	25件(0)	15日
予算特別委員会	16日	45件	0日
決算特別委員会	4日	9件	0日
合 計	46日	153件	46日

※()内は請願審査分で内数

◎議会運営委員会等の開催状況

	開催日数
議会運営委員会	33日
議会報編集委員会	13日
議会改革推進特別委員会	7日
委員長会議	1日

◎本会議傍聴者数 **52名** (令和5年:152名)

令和6年の一般質問から ～住民の代表として市政の監視と政策立案機能を発揮～

一般質問のテーマ	質問回数
防災分野(能登半島地震、7月大雨災害関連など)	24(14)
教育分野(部活動地域移行、義務教育学校関連など)	13(9)
観光分野(クルーズ船、鳥海山・飛鳥ジオパーク関連など)	9(7)
健康分野(子宮頸がん撲滅、喫煙率低下など)	7(3)
地域経済分野(景気回復見込み、企業誘致など)	6(6)
農業分野(水稻農業、穀物乾燥貯蔵施設など)	6(5)
港湾分野(貨物量拡大、洋上風力発電事業など)	4(3)

※項目は、実際の発言内容で分類しているため、通告と異なる場合があります。
※質問回数は延べ人数、()は実人数です。

令和6年は議員延べ65人が112項目にわたって一般質問を行いました。中でも、元日の能登半島地震、7月の大雨災害の発生により防災分野の質問が多く、次いで多かった教育分野の質問では、中学校部活動の地域移行や義務教育学校整備に関すること、そのほかにも市への指摘や提案がさまざまな視点から行われました。住民の意見を代表し、市政につながる一般質問。皆さんもこうした視点から傍聴してみてはいかがでしょうか。

注 目 さ れ て い ま す

本市議会では、他自治体議会・議員の行政視察を受け入れています。
行政視察受け入れ実績から読み取れる、本市の注目施策をご紹介します。

令和6年 行政視察来庁者数

16団体 ・ 103名

(令和5年：9団体・35名)

主な視察内容	延団体数
駅前再整備事業・ミライニ	5
議会改革・通年議会	3
デジタル変革施策（自治体フロントヤード改革ほか）	3
日本一女性が働きやすいまち宣言	各1
交流事業	
こども家庭センター「ぎゅっと」	
空き家対策	
北前船を活かした観光施策	
国際クルーズ客船寄港地観光の取り組み	
高齢者支援事業	
アンテナショップ「麦わら帽子」	

ミライニが最多受け入れ

令和6年は、北は北海道根室市から南は福岡県福岡市まで行政視察を受け入れました。

令和4年にグランドオープンした駅前再整備事業である「酒田駅前交流拠点施設ミライニ」が5件と最多の受け入れとなりました。次いで、昨年度から政策提言や通年議会などを導入している本市議会の取り組みと自治体フロントヤード改革をはじめとするデジタル変革施策が各3件ずつでした。



おいでいただきありがとうございました

議会活動日誌 *Diary*

11月

- 7日 山形県市議会議長会議会報研修会
- 11日 議会報編集委員会
総務・建設経済合同常任委員勉強会
建設経済常任委員勉強会
- 14日 民生常任委員会意見交換会
- 20日 議会報編集委員会
- 22日 全議員勉強会
各常任委員協議会
- 26日 議会運営委員会

12月

- 2日 12月定例議会（～13日）
本会議
議会運営委員会
- 5日 各常任委員会
建設経済常任委員勉強会

- 6日 予算特別委員会
議会運営委員会

- 10日 本会議
各常任委員協議会
議会報編集委員会

- 11日 本会議
議会運営委員会

- 12日 本会議
- 13日 本会議

- 総務常任委員会
予算特別委員会

- 13日 議会運営委員会
- 26日 各常任委員協議会

- 民生常任委員勉強会
民生常任委員会意見交換会
建設経済常任委員会勉強会

酒田市議会では、令和6年4月から通年議会を導入しており、**定例会**の回数を年1回、会期を約1年として、常に議会が開会中の状態となっています。

1月に市長が議会を招集し、定例会の会期を1年間と決めることで、その期間は議長の判断でいつでも会議を開くことができます。

定期的に開催し集中的に審議を行う「**定例議会**（3月、6月、9月、12月に開く）」と迅速な対応を行うため臨時に開く「**臨時議会**」があります。

■酒田市議会 通年議会のイメージ

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
定例会	定例会											
本会議	市長による招集 1月招集議会	議長による再開通知 3月定例議会	議長による再開通知 4月臨時議会			議長による再開通知 6月定例議会			議長による再開通知 9月定例議会			議長による再開通知 12月定例議会

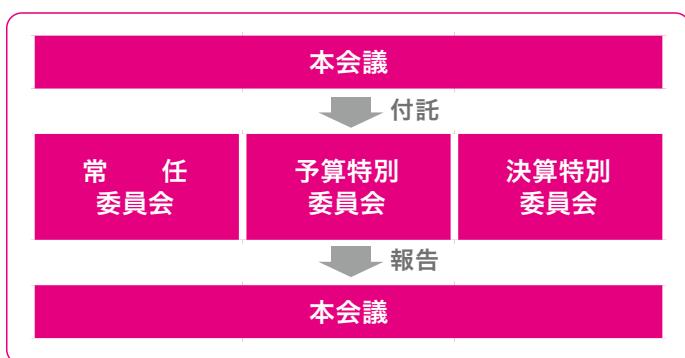
本会議は、議員全員と市長ほか執行機関の長などが議場に集まり開かれる会議です。

- ・**提案理由説明** 提案者である市長が議案の内容を説明します。
- ・**代表質疑** 議案について、会派等の代表が質疑を行います。
- ・**委員会付託** 議案を効率的かつ専門的に審査するため、委員会に付託します。（※委員会に付託しない場合、本会議で審議します。）

委員会では、本会議での付託を受けて、本会議の審議に判断材料を提供するための審査を行います。酒田市議会には、**総務、民生、建設経済の3常任委員会**と、予算を審査する**予算特別委員会**、決算を審査する**決算特別委員会**などがあります。本会議と同じように質疑、討論を経て、採決により委員会の意思を決定します。

- ・**委員長報告** 付託された各委員会の委員長が、本会議に審査結果を報告します。
- ・**質疑** 各委員長の報告に対し、質疑を行います。
- ・**討論** 採決の前に、必要に応じ議題となっている案件に対し、反対、賛成の意見を表明します。
- ・**採決** 議長が議員に賛否の意思表示を求め、議会の意思を決定します。

このほかに、本会議には市政全般について報告、説明を求め、または疑問を質す一般質問があります。また、上記のほかに円滑な議会運営を協議する**議会運営委員会**があり、必要に応じて特定の案件を**調査研究する特別委員会**が設置される場合もあります。



皆さんの傍聴をお待ちしています。

まもなくオープン！ いろは蔵パーク



酒田商業高校跡地に整備が進んでいる「いろは蔵パーク」を総務常任委員会、建設経済常任委員会が現場視察を実施し、事業担当者より工事の進捗状況などについて説明いただきました。

3月27日(木)にオープンが予定されています。酒田の新たな賑わい創出の目玉になることを期待しています。

編集後記

編集後記まで議会だよりをお読みいただきましてありがとうございます。昨年を振り返りますと、元日に能登半島地震が発生し、7月には本市でも大雨災害が発生するなど大きな災害がありました。

能登半島地震直後の3月定例会では、5人が一般質問で災害に関することを取り上げました。また、本市で大雨災害が発生した直後の9月定例議会では12人、12月定例議会でも5人が取り上げました。

この議会だよりが皆さま方のお手元に届くのは2月頃かと思います。それまでは災害がなく穏やかな日々でありますよう編集委員一同祈念するものです。(斎藤周)



12月定例議会の傍聴者数
個人14名、団体5名 計19名

3月定例議会のお知らせ(予定)

- 議会期間 …………… 2月21日～3月19日
- 代表質疑 …………… 2月21日、3月 3日
- 常任委員会…………… 2月25日、3月 4日
- 予算特別委員会
…………… 2月25日、3月5日～10日
- 一般質問 …………… 3月13日、17日、19日

※詳しい日程は2月17日に開催予定の議会運営委員会で決まります。

3月定例議会 請願締切 2月14日(予定)

表紙写真説明



「鳥海山に向かって飛ぶ」

場所は亀ヶ崎です。1月に鳥海山の山頂まで姿を現してくれるのは、ほんの数日です。この日は久しぶりにすっきりと晴れて、鳥海山が全身を見せてくれました。雪が青空をバックにして眩しかったです。そこへちょうど最上川から飛び立った白鳥たちが、鳥海山の方へ飛んでいきました。いつもなら午前9時には最上川の白鳥たちはみんな飛び去ってしまうのに、この日の朝が寒かったからでしょうか、いつもより遅れて飛び立つ群れがありました。 高谷 勝巳氏 撮影

議会報編集委員会

委員長	大壁 洋平	委員	遠田 敏子	齋藤 美昭	富樫 幸宏
副委員長	伊藤 欣哉		武田 恵子	後藤 啓	斎藤 周

※市議会だよりに対するご意見・ご質問などがありましたら、お気軽にお寄せください。